

教学半也

令和8年6月19日

No. 3

初任者対象

令和8年度 初任者研修 小学校：令和8年5月12日 中学校：令和8年5月19日 ブロックセッションⅠ

授業参観と研究会を通して、教材研究の基礎を確認し、実践的な指導力を養うことをねらいとし、先輩の先生の授業参観と授業研究会を行いました。今年度は、小中学校を別日程とし、3地区それぞれで小学校1校、中学校1校の計6校で研修を行いました。

初任者の皆さんは、先輩先生の授業を参観し、授業研究会では子供の姿を基にして、初任者の先生同士でと語り合いました。また、会場校の校長先生からは、長野県の教師として歩み始めた初任者の皆さんに、温かいメッセージをいただきました。

【先輩先生の授業を参観して】

子供の発言を取り上げながら、クラス全体で学習を進めている様子が印象的でした。先生が子供に「どうしてそうなるのかな」と問いかけたり、「こうすればよさそう」という子供の声を広めたりと、学習の出発点と終着点がある授業を私も目指したいです。

学習問題が子供にとって必要感のあるものになったとき、子供たちは学びに自分から向かっていくことが分かりました。そのために、子供の「どうしてだろう」という疑問を教師がつかみ、子供の声から学習問題を設定していくことが重要だと分かりました。



【授業研究会で子供の姿から語り合う】



今回は同学年や同教科を担当する初任者の先生方で、子供の姿を基に、自分の目指す授業について語り合いました。

それぞれの子供の学びの様子に注目した先生方の見方に触れ、同じ子供の姿でも、感じ方が違うことや、改めて、授業づくりの難しさについて学びました。これからの課題についても、今の状況の共有も通して話し合うことができ、自分の中で明確にできるとてもいい機会になりました。

今回、授業を公開していただいた会場校の先生方と子供たちのおかげで、初任者の先生方にとって学びの多い研修会となりました。特に、先輩先生の子供とのかかわりや、授業づくりの視点を学ぶことを通して、「自己課題」の設定に大きく近づいた研修となりました。次回は、6月23日（火）のブロックセッションⅡで、初任者と5年経験者の先生方とのクロスエイジセッションを行います。自己課題の解決に向けた取組について先生方と語り合いながら、より具体的に取り組む内容を構想していきます。

【お知らせ】

6月23日（火）ブロックセッションⅡの要項は、6月9日（火）にPlantに掲載済みです。当日の日程や持ち物が記載されていますので、確認をお願いします。